

会 議 録

会議の名称	西東京市公民館・図書館施設整備懇談会 第3回
開催日時	平成17年11月16日 午後2時00分～4時00分
開催場所	イングビル 第4会議室
出席者	(委員) 大澤座長 風袋副座長 中込委員 野間委員 木山委員 濱野委員 吉岡委員 飯島委員 (事務局) 島崎保谷公民館長、小池中央図書館長 奈良係長 伊佐係長
議 題	1 保谷駅前公民館・図書館について (1) 公民館・図書館施設整備懇談会施設調査について (2) 保谷駅前公民館・図書館のコンセプトについて (3) 保谷駅前公民館・図書館の概念図について 2 今後の日程について
会議資料の名称	(1) 公民館・図書館施設整備懇談会施設整備調査記録(要約) (2) 保谷駅前4階図書館フロアー・5階公民館フロアー概念図
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会 議 内 容	
○座長： これより、会議を始めます。 先月の会議で、コンセプトについてご意見もらいましたが、時間がなく十分な議論ができておりません。今日は先日の施設見学の調査記録の要約が配られているので、事務局からの説明と併せ、コンセプトの論議に入って行きたいと思います。 ○公民館長： それでは公民館の方から説明いたします。住吉公民館は、建設以来35年以上を経過しており、保谷の中で最初の公民館です。 住吉公民館へのご意見は、1階部分に障害者学級施設、休日診療所、児童館、2階が福祉会館、3階が公民館として建物全体の統一したテーマが満たされていないこと、併設館としての効果を得ようということで作られているが、今日の状況には適合しない建物になっていること、保谷駅とひばりが丘駅の間点にありバス便がないなどから駐車場が広くとられていること、静かな環境であること、という指摘がされております。また、駅前に移転する計画が進められているので、今の施設にとらえられない発想で考えていいのではないか、とのご意見もいただきました。 ○座長： 住吉公民館について、見学者の意見を整理してもらいました。 ○公民館長： いくつかご質問をいただいておりますので、お答えいたします。 ひとつは、現在どのような地域の方が利用されているのか、とのことですが、平成16年3月現在、約200弱の団体が登録しております。その中で住吉町、泉町など、住吉公民館近辺の団体数が87件で44%の登録があり、地域に利用されている施設であることが	

言えます。

もう一点は、調理室の利用状況についてですが、利用率は15年度の実績で38%、同じ調理室を持っている田無公民館ですと70%、これは工作室も兼ねており活発に利用されています。公民館全体の平均が68%ですので、これに比べてもかなり低い利用率になります。

○座長：

見学した委員で補足するご意見がありますか。

○委員：

視察した全体の感じから、駅に集約する意義がまだわからない。住吉公民館に絞れば、あれだけのスペースがあって、地域住民の行動範囲を考えたとき、駅に集約することの可否がわからない。駅前に公民館・図書館を作る前提でいきそうなので、もう一度原点に返って住吉公民館・福社会館をそのまま保存し、新しく作る予算を投入して図書館と一緒にすることはできないか。下保谷図書館はそのまま残して、利用範囲がオーバーラップするが、駅前に移ると過疎ができてしまうので、住吉を生かしたほうが大切なのではないか。

○委員：

駅前に持っていくことは決まっていることです。

○座長：

ここでは、駅前にできる施設について考えています。保谷駅前にできる施設を作るという前提で懇談会に集まっていたいただいているので、住吉をどうするかは別の次元で話し合ったほうがよいかと思います。ほかにご意見はありますか。

○委員：

公民館長の説明された事項で、イメージ的にもう少し泉町や住吉町の利用頻度が高いと思っていた。説明にあった登録件数から判断すると、駅の北側の利用が多く、イメージが違っていた。

○座長：

北側に施設がないということが言えるのではないですか。

○委員：

サークルの登録件数が、イメージしたより駅に近い東町、中町の市民が住吉を利用している。

○委員：

住吉公民館は、保谷の中では一番古く、下保谷図書館も最初にできた歴史的な古さがあり、私も使っている。周辺の人たちにとって親しみがある。でも、利用層が変わり、いつまでも現状の位置に施設があればよいというわけにはいかなかった。住吉は交通が不便であり、保谷駅南側施設に新しい企画でやっていける施設とはどのようなものか、将来に向かう見方で考えていきたいと思います。

○委員：

第一印象は、古いが敷地が意外と広いと感じました。地域が駅から離れているので、その地域で利用している人には便利だと思います。駅に移ってしまうと、道が狭く不便

になるかと感じました。

○委員：

この会というのは、住吉から公民館が駅南口に行くことが決定しており、そういう前提に立って考えていくことが大事です。

○座長：

見学についてはよろしいですか。

○副座長：

質問ですが、公民館の現在の利用状況をデータ化したもの、例えば男女比、年齢構成、使われている方の職業、個人使用か団体使用か、というような、全体の割合がどうなっているのか教えていただければ現状のイメージがつかめるのですが。

○公民館長：

公民館では、今利用者の実態調査を行っており、何名ぐらい使っているのかを調べています。一般的なことで言えば、若者は利用しない、女性が圧倒的に多い、高齢者の場合は男女半々ですが、中年層では圧倒的に女性が多いということです。

○委員：

週単位、月単位で何団体、およそ何名ぐらいが使用しているという統計はないのですか。

○公民館長：

これから実態的な統計を取ります。年間では住吉公民館が延べ約5万5千人の利用者があり、公民館全体では30万人以上になります。住吉公民館の団体の利用ですと、年間3,433団体になります。

○委員：

柳沢の公民館と比べると相当の差ですね。人数的にも登録者数でも、柳沢の視聴覚室は広いですから、若い人や男性がよく使います。住吉の場合は、せいぜいコーラスぐらいで女性が多く使っている。高齢の男性が調理室で料理の勉強ぐらいで利用があまりないです。

○座長：

公民館についてはよろしいですか。続いて下保谷図書館についてのご意見に移りましょう。

○図書館長：

10点ほどのご意見をいただきました。現在の下保谷図書館の立地は、非常に静かな住宅地の中にあり非常に優れた環境であるということ、下保谷図書館の狭いということを除けば移転させる必要はないだろうというご意見だろうと思います。付帯施設を含めた施設面積を勘案すれば、現在複合施設として下保谷福祉会館と児童館と一体となっているので、その中で見直してはどうかとのご意見と受け取りました。現在、西東京市の基本計画の中で、市全体の公益施設の建て替え等についての事業が計画化されていますので、現在の下保谷図書館の敷地内で、図書館の建て替えは計画としてありません。それを懇談会で議論していただいても、生かす方向がありません。この懇談会は、駅前施設をどのようにしていくのか、具体的にご意見、ご提言をいただくということで設置して

おります。そのような方向で議論していただきたいと思います。

次に、静かで環境はよいが建物に入ったとたん圧迫感と狭さを感じるというご意見で、これは下保谷の現状の観察だと思います。集約すると、問題は３点あると思います。１点は、狭さからくる根本的な問題で、児童書も含め特に成人が必要な資料を収める場所がないので役立たないというご意見。２点目は、学習スペースがないためゆっくり調べ物や読書をしたたりすることができない。３点目は、他の市内の図書館には、お話し会や読み聞かせのコーナーがあるのに下保谷にはないとのことのご意見でした。

そのほかには、駐輪場についてのご意見がありましたが、今後関係課と協議をしながら駐輪場の整備を検討していく必要があると考えています。

○座長：

下保谷図書館には集会室はないのですか。

○図書館長：

下保谷図書館の２階に和室と集会室があり、予約システムで使えるようになっています。

○委員：

児童施設、福祉施設、特に２階部分を初めて見ましたが、周辺の人にずいぶん利用されているようですね。

○図書館長：

時間が止まっている印象を受けたが利用している市民がたくさんいるので利用実態を想像する必要がある、というご意見をいただきました。

また、保谷駅周辺ということでご意見をいただきました。駅前という特殊性があるので、安全の確保が大事であるのでどうなるのかとのご意見ですが、行政としましても、現在の駅前の交通事情等の諸問題を解決するための再開発事業であります。公民館・図書館につきましても、十分配慮した施設作りを進めたいと思っております。

全体の感想は、駅前の立地を十分に生かすことができるのかという危惧がある、というご意見でした。この点について、施設整備懇談会の中でご意見をいただきたいと思います。

○座長：

柳沢は駅前だが、駅ビルではない。清瀬はどうか。利用実態を調べておいてもらいたい。練馬区民の利用者が多くなりますね。では、施設調査はよろしいですね。

それでは、前回の駅前公民館・図書館のコンセプトと基本機能に移ります。コンセプトに関わる議論はいくつかありましたが、整理しましたので読みます。

ひとつは、駐輪場の件ですが、全体的な形として考えていきたいと説明がありました。利用者は、公民館・図書館の利用者や買い物客、通勤客もいますし、駐輪場を有料にするのか、無料にするか、面積がどのくらいとれるのか、これは西武との関係もあるでしょうが、この懇談会の中の意見として整理して出すことはできると思います。決定は難しいと思いますので、市のほうで検討してもらいたいと思います。

二つ目は、公民館・図書館の一体的な運営を今後どうするのか、ということです。

本日は、概念図もありますが、これは後で議論します。では前段としてコンセプトについて話をしていきたいと思います。

○委員：

公民館の施設作りの中に調理室があるが、調理室をおく考えはあるのか。

- 公民館長：
駅前という実態、地理等を考えた場合、必要かどうか、議論があることと思います。
- 座長：
今の話ですと、調理室はおかないということも考えられるということですね。調理室をおかないことに関して何かご意見はありますか。
- 委員：
概念図の中で学習支援機能とは、どのような施設ですか。
- 事務局：
印刷室、給湯室等の設備です。
- 座長：
それでは概念図の説明をお願いします。
- 事務局：
4 階 5 階を並べて見てください。マルチホールはかなり大きくとってありますが、いろいろな用途を果たすためです。5 階の公民館部分はレイアウトのしにくいところがありますので、打ち合わせや展示等の利用のためにスペースを割いています。4 階の図書館は、管理部門が公民館と共用となります。概念図ですので、参考に見ていただき、委員のご意見をいただきたいと思います。
- 委員：
施設の幅はどのくらいあるのですか。
- 図書館長：
20メートル×40メートルで800平方メートルが4 階です。
- 座長：
4 階の管理部門がありますが、今の説明ですと、公民館や図書館が閉館している時や緊急の場合を考えて、この場所にもってきたのですか。
- 図書館長：
機能を考えれば、このようになるだろうということで、概念図はけして部屋割りや床割りではありません。このような概念を活かすために、ひとつの解決策としてホールと管理部門を一体化した施設を作ればコンセプトにある機能が実現できるだろうと、事務局では考えました。公民館と図書館の職員の勤務体制は違いますので、一体化した管理部門を持てば、1 週間を通じて職員がいる状況が作れるだろうと思います。それを活かすにはホールに面して事務室窓口が設けられている状態が必要なのかと考えますが、この点を議論していただければよろしいかと思います。
- 座長：
概念図として出てきているので、管理部門がここにあるのはどうでしょうか。
- 事務局：
マルチホールなどの共有のスペースを持つことで、いろいろ柔軟な発想になるのではないかと思い、提案しました。

○座長：

階段やエレベーターなど動かせないものは決まっている。それは上下同じですね。大きさが一緒でないと、例えば4階に集会機能を持っていくこともありえるわけですから。共有部門は4階に、集会機能は5階に、という住み分けもできるのではないのでしょうか。皆さんの意見を伺いたい。

○委員：

蔵書の数が、現在7万冊から12万冊と5万冊増えますが、かなりスペースから見て制約されているのではないかという理解でいいですか。

○図書館長：

今の下保谷の機能を拡大した上で、マルチホールと合体した事務室が十分取れると思います。

○座長：

軽食コーナーというのは、柳沢と同じですか。

○図書館長：

自動販売機を置いてはどうかと考えていますが、調理したりすることはできないかもしれません。市民からの要望は多いです。

○委員：

マルチホールは、公民館・図書館共有で使う位置づけですか。公民館や図書館が休みのときでも使えないと意味がない。

○図書館長：

イメージとしては、保谷公民館、柳沢図書館を考えていただけたらよいかと思います。

○委員：

談話室やおしゃべりするコーナーがほしいと思いますが、共有部分で対応できます。談話室はおしゃべり専門、図書館は学習機能を持った静かな場所と考えなければならぬ。

○図書館長：

学習機能もふた通りあります。一人で使う場所、グループで使う囲い込んだコーナーの要求があります。

○座長：

概念図もそうなると4階・5階を分けて考えないといけないのではないか。共通部分をどのように配置するかです。

○事務局：

目的をはっきり持って配置したほうがよいのではないのでしょうか。

○座長：

駅前の図書館は時間帯で利用者が変わる。

○事務局：

公民館も同じことが言えると思います。

○委員：

公民館に関しては、住吉と広さは変わらない。学習機能に絞って間仕切りを利用し大きさをえられるようにしたらどうか。図書館は、駅ビルに出るのは初めてなので、ビジネス支援など積極的に取り入れたらよい。

○副座長：

コンセプトの問題をダイアグラムにどのように反映させるかだが、一体化の考え方がコンセプトの大きな課題ではないか。管理部門とマルチホール、4階・5階のつながりを含めて一体化を考える。4階・5階のアクセスの仕方で新しい提案が可能ですか。

○委員：

実施設計が固まっていて中階段の構想はない。意見を言っても反映するかどうかかわからないでしょう。

○副座長：

明るく開放的な施設をどのように実現するのかですが、屋上緑化が可能でしょうか。今回与えられている部分は屋上なので、明るく開放的な施設として、緑化できるといいのですが。

○公民館長：

室外機等を置くスペースもあるが、緑化の場所もあります。

○事務局：

公民館の機能の中に調理室や保育室等があるが、これらの機能はどうでしょうか。

○委員：

保育室設置は特にお願いしたい。

○座長：

概念図についての検討が不十分なので、今後、事務局と検討し、わかりやすい概念図を作って次回に出したいと思います。

11月26日に地域の住民の懇談会を開催しますので、当日の資料として、この概念図を提出します。

次回以降の予定を事務局から説明をお願いします。

○図書館長：

第4回懇談会は、概念図について検討していただき、できればまとめていただきたいと思います。第5回懇談会からは、既存施設のリニューアルについてのご意見をいただきたいと思います。

○座長：

懇談会の今後の方向性は説明のとおり、よろしくお願いします。

次回日程 第4回 12月21日（水）午後2時から

第5回 1月18日（水）午後2時から